



勝敗を超えて世界が称えたもの

アメリカ、カナダ、メキシコの3か国共催でサッカーのワールドカップが開催されています。日本代表は決勝トーナメントまで勝ち進みましたが、強豪ブラジルとの一戦では惜しくも敗れました。最後まであきらめることなく全力で戦う選手たちの姿は、多くの人々に勇気と感動を届けてくれました。

実は、日本代表や日本のサポーターが世界中から注目されるのは、試合の結果だけではありません。4年前のカタール大会では、試合終了後、日本のサポーターが観客席に落ちているごみを拾い、会場をきれいにしてから帰る姿が世界中で大きな話題になりました。海外のレポーターが「なぜ日本の人たちは、ごみを拾うのですか」と尋ねると、1人のサポーターはこう答えました。「使う前よりも使った後をきれいにすることが大切だと教えられてきました。それは当たり前のことです。感謝の気持ちをもってそうじをしています。」多くの日本人が同じように、「使った後、きれいにするのは当たり前」と話していたそうです。この姿は世界中に放送され、試合後にごみを拾う海外のサポーターも増えました。



そして、今回のワールドカップでも、その姿は変わりませんでした。ブラジルとの試合に敗れ、日本のサポーターも悔しい気持ちでいっぱいだったことでしょう。それでも試合終了後には、いつものように客席のごみを拾い始めました。その姿を見たブラジルのサポーターも、一緒にごみ拾いを始めたそうです。さらに、日本のサポーターの清掃活動に、アメリカの有名スポーツ選手や世界的に影響のある配信者なども自発的に加わり、大きな話題となりました。日本のサポーターの「来たときよりもきれいにして帰ろう」という行動が、多くの人々の心を動かし、「自分もやってみよう」という輪が世界中へ広がっていったのです。言葉や文化、国籍が違っていても、1つのよい行動が人から人へ伝わり、社会をよりよい方向へ変えていく力があることを改めて感じました。

「来たときよりもきれいにして帰ろう。」

この何気ない行動が、国や言葉、文化の違いを越えて、人の心を動かし、新たな行動へとつながっていきました。

先日、7月13日の全校朝会でもこの話題を取り上げ、「もくもく」「すみずみ」「ピカピカ」「時間いっぱい」を合言葉に、自分たちが使う教室や廊下、階段など、心を込めて掃除することの大切さを子どもたちに伝えました。

(※裏面に続く)

(※表面より)

掃除は、学校をきれいにするためだけの活動ではありません。自分たちが生活する場所を大切にすること、次に使う人への思いやりを育む大切な学びの時間でもあります。子どもたちには、「誰かに言われたから」「見られているから」ではなく、「使った場所をきれいにすることは当たり前」という気持ちを持ち、自ら進んで行動できる人に育ってほしいと願っています。そのような日々の積み重ね



は、あいさつを交わすこと、はきものをそろえること、時間を守ること、困っている人に手を差し伸べることなど、学校生活のさまざまな場面につながっていきます。



ワールドカップで日本のサポーターが示した姿は、日頃から大切にしてきた「当たり前」の積み重ねが、多くの人の心を動かし、世界へと広がっていくことを教えてくれました。野田小学校でも、こうした日々の小さな行動を大切にしながら、子どもたち一人一人の豊かな心を育てていきたいと思います。

のだっこ Diary

★子どもたちの学校生活のようすは、本校ホームページでも紹介しています。随時更新していますので、ぜひご覧ください。

【英語モジュールタイム（１・２年生）】 ６月 12 日（金）・19 日（金）

毎週火・金曜日のパワーアップタイム（８時 45 分～９時 10 分）のうち 10 分間は、「英語モジュール」の時間として全学年で取り組んでいます。英語の歌やチャンツ、簡単な会話活動などを通して、子どもたちが英語の音や表現に親しみ、「聞く・話す」力を楽しみながら伸ばすことをねらいとしています。毎週の積み重ねを大切に、英語で伝えようとする意欲を育てていきます。

６月 12 日には、英語担当と C-NET（ネイティブ）の先生と一緒に 1 年生の教室を訪れ、英語であいさつや簡単な会話を楽しみました。子どもたちは英語の表現をよく聞いてまねしたり、元気よく声に出したりしながら活動していました。その後は、英語の絵本『Peek-a-Zoo』の読み聞かせをしました。ページをめくるたびに現れる動物たちに目を輝かせながら、動物の名前を一緒に口に、英語のリズムや響きを楽しんでいました。遊びや絵本を通して英語に親しむことで、子どもたちは「聞く・話す」ことの楽しさを感じながら、自然に英語に触れることができました。

６月 19 日には、２年生の教室で C-NET の先生と一緒に、天気や日にち、曜日の言い方を学習しました。英語でのやり取りを楽しみながら活動した後は、絵本『Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?』の読み聞かせです。繰り返し出てくる表現に耳を傾けたり、次に出てくる動物を予想したりしながら、英語の音やリズムを楽しんでいました。笑顔と元気な声があふれる、楽しい英語モジュールタイムとなりました。



※「校長室だより」カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。